

1 . 調 査 報 告 概 要 表

作成日 平成 2 1 年 1 0 月 7 日

【認知症対応型共同生活介護用】

【評価実施概要】

事業所番号	2 7 7 5 5 0 2 1 9 4
法人名	医療法人 幸晴会
事業所名	こうせい苑グループホーム
所在地	八尾市北木の本 5 - 6 - 1 (電 話) 0 7 2 - 9 2 8 - 0 3 1 3

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺 1 丁目 1 番 5 4 号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 2 1 年 9 月 1 8 日

【情報提供票より】(平成 2 1 年 8 月 1 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 1 6 年 1 1 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	1 8 人
職員数	1 8 人	常勤 9 人, 非常勤 9 人, 常勤換算	9 . 6 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	3 階建ての	2 階 ~	3 階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	4 2 , 0 0 0 円	その他の経費 (月額)	円
敷 金	有 (円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (2 5 0 , 0 0 0 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または 1 日当たり 1 , 4 0 0 円		

(4) 利用者の概要 (平成 2 1 年 8 月 1 日現在)

利用者人数	1 7 名	男性 5 名	女性 1 2 名
要介護 1	2 名	要介護 2	4 名
要介護 3	6 名	要介護 4	3 名
要介護 5	2 名	要支援 2	0 名
年齢	平均 8 6 歳	最低 7 4 歳	最高 9 7 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	八尾徳洲会総合病院
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

医療法人がデイサービスセンターと併設して、2 ユニットのグループホームを運営しています。2 階ユニットには共用リビングから広いバルコニーがあり開放感があります。バルコニーでは季節の草花や野菜、果物を栽培し、それらの成長を見ながらお世話することが利用者の楽しみの 1 つになっています。職員は丁寧な言葉遣いや、穏やかな接し方で寄り添い、利用者のペースに合わせ、その人を尊重した支援を職員全員で日々取り組んでいます。法人全体で 1 0 ヶ所の事業所があり、職員の研修体制も整っており、質の向上に向け職員の育成にも熱心に取り組んでいます。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連科目：外部 4)
	前回の評価結果は全職員に周知し、外部評価の意義の理解を深めています。改善点については具体的に入社時の採用時研修の計画を作成し実施しています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目：外部 4)
	今回の自己評価も非常勤職員を含む全職員に各自で記入してもらい、その内容をフロアーリーダー、ホーム長がまとめて作成しています。自己評価を各自で検討することにより、日々の業務の振り返り、今後の取り組みなど、それぞれが認識し支援に活用できています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目：外部 4, 5, 6)
	運営推進会議の運営規程を作成し、運営推進会議は 2 ヶ月に 1 回定期的に開催されています。参加者は利用者、家族、地域の高齢クラブ代表者、民生委員、保健センターの職員などが出席し、ホームからの報告、意見交換を行い、そこでの意見をサービスの向上に活かせることができるよう努力しています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目：外部 7, 8)
	年 4 回季刊誌を発行し、家族に郵送しています。また半年に 1 回は個別に生活状況などの報告を作成し郵送しています。状態の変化や必要時はその都度電話連絡しています。玄関には意見箱を設置していますが、意見を入れられる方がほとんどなくなかなか活用できていません。しかし、家族の面会時には職員がコミュニケーションをとり、話しやすい雰囲気作りに気を配り、できるだけ意見など表せる機会をつくる努力をしています。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目：外部 3)
	月 2 回は、マジック、踊り、三味線など地域のボランティアの訪問により交流ができています。バザーや夏祭りには地域の方がホームに来るなど積極的に参加してくれています。運営推進会議をきっかけに、地域との関係が深まり協力や相談も行っています。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外 部	自 己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	目配り・気配り・心配りで「個別・自立支援」、優しく・親切・丁寧で「その人らしさを尊重」、地域と和合して「安全・安心」をホーム独自の理念として掲げています。状況に応じ見直しを行っています。地域密着型サービスとしての役割を理解した上で、地域との関係性を大事にし、また利用者のペースを尊重した支援の取り組みを行っています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関入口や事務所内に理念を掲げ、いつでも目に届く場所にあります。月1回のユニット会議では時折理念の内容に触れ、理念の共有化を目指して積極的な意見交換が行われています。理念を基本とし、利用者を自分の立場や家族に置き換え、より良いケアの実践に向けて日々取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	月2回は、マジック、踊り、三味線など地域のボランティアの訪問により交流ができています。バザーや夏祭りには地域の方がホームに来るなど積極的に参加してくれています。運営推進会議をきっかけに、地域との関係が深まり協力や相談も行っています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価結果は全職員に周知し、外部評価の意義の理解を深めています。改善点については具体的に入社時の採用時研修の計画を作成し実施しています。今回の自己評価もパートを含む全職員に各自で記入してもらい、その内容をフロアリーダー、ホーム長がまとめて作成しています。自己評価を各自が検討することで、日々の業務の振り返り、今後の取り組みなど、それぞれが認識し支援に活用できています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回定期的に開催されています。参加者は利用者、家族、地域の高齢クラブ代表者、民生委員、保健センターの職員などが出席し、ホームからの報告、意見交換がなされ、そこでの意見をサービスの向上に活かせることができるよう努力しています。運営推進会議の運営規程も作成しています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	日頃から相談事など、市の担当課に出向き気軽に話せる窓口を確保しています。事故報告は迅速に報告し、対応できる関係ができています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	年 4 回季刊誌を発行し、家族に郵送しています。また半年に 1 回は個別に生活状況などの報告を作成し郵送しています。毎月の請求時に立替払いの領収書を添付しています。状態の変化や必要時はその都度電話で連絡しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関には意見箱を設置していますが、意見を入れられる方がほとんどなくなかなか活用できていません。しかし、家族の面会時には職員がコミュニケーションをとり、話しやすい雰囲気作りに気を配り、できるだけ意見などを表せる機会をつくる努力をしています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員はユニット毎に固定し、馴染みの関係を作っています。職員の移動がある場合、事前に利用者へ説明と報告をしています。管理者も職員とできるだけコミュニケーションをとるようにし、相談や悩みなど表出しやすい雰囲気作りに配慮して離職を最小限に抑えています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修は10か所の事業所が合同で参加し担当制でテーマを決め（課題について当番事業所から発表者を出す）年間スケジュールを作成し実施しています。業務時間外の研修になりますが、職員は積極的に参加し知識を深めています。参加できなかった職員は参加した職員の報告書を閲覧し共有化を図っています。ホーム内ではユニット毎に毎月勉強会を実施し、質の向上に活かしています。緊急時対応・認知症・感染症のほかにも多岐にわたって研修しています。外部研修も希望があればできるだけ参加できるよう配慮しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	年4回の八尾市介護保険事業所連絡協議会グループホーム分科会に参加し、同業者との意見交換などにより交流を深めています。また他のグループホームに見学に行くなどし、そこでの気付きや発見などを報告しサービス向上に活かす努力をしています。		

外 部	自 己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には自宅訪問し、家族から自宅での生活ぶりを聞いたり、ホームへ見学に来てもらったりして、できるだけ納得し安心してもらった上で入居を決めてもらっています。入居後混乱がある場合は、再度自宅での状況確認や対処法などを家族から聞き馴染みの関係を築いています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	人生の先輩として、家事の仕方や礼儀作法など利用者から教わるが多く、双方向の関係作りができています。日常生活の場面では、調理や後片付け、洗濯物たたみなど男女の区別なくお互いが協働しながら和やかな雰囲気です生活しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	「本人像」というシートに利用者の生活歴や趣味、特技など本人や家族から得た情報を記入し、職員が共有しながら日々の支援に活用しています。意思疎通が困難でも、日々観察し、表情などから把握するよう務めています。新たな情報などは追記していくことで、情報の共有と利用者の把握に活かせることができます。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族の意見も取り入れ、利用者毎にあった内容の目標設定を行い、介護計画を作成しています。掲げられた目標は日々のケースファイルに添付し、常に職員も確認しながら共有化を図っています。介護計画は本人、家族の署名捺印があります。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	モニタリングは毎月行い、利用者の満足度や目標達成を確認しています。介護計画の変更や見直しの際には担当者会議を実施し、介護職員も参加して、意見交換した上で作成しています。		

外 部	自 己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	緊急時の受診など、家族の通院が難しい時は職員が通院介助を行うなど柔軟な対応を行っています。運営推進会議に参加の高齢クラブ代表が仲間を連れて訪問してくれます。また、職員と一緒に買い物に出かけた時は利用者に財布を預け、自分でお金を支払う機会を意識してつくっています。併設デイサービスとの交流を通し、デイサービスの利用者と馴染みができ入居に至ったケースもあります。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回、同法人の院長の往診により健康管理を行っています。またクリニックの看護師が月～金曜日にバイタルや健康チェックのため訪問があります。体調不良の早期発見や医療相談など24時間体制があり、安心した生活が送れています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りについての指針を作成し、本人、家族にも説明しています。重度化や看取りに備え主治医、看護師、職員と共に対応方針など、共有を図っていくための話し合いを始めています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入社時に、個人情報保護の誓約書を取り、日常的にも勉強会などで、周知徹底を行っています。個人ファイルなどは鍵の付いた書庫に整備されています。利用者への言葉かけなど、職員は丁寧な対応ができています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員はできるだけ利用者のペースを尊重したケアを目指しています。食事時間がかかっても、職員の都合を優先するのではなく、利用者のペースに合わせ、寄り添って柔軟に対応しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材は業者からの配達ですが、野菜を切ったりする調理は利用者と一緒に行っています。配膳や下膳も利用者が積極的に手伝っています。行事などがある年8回くらいは、利用者と相談しメニューを決め調理しています。職員は利用者と同じ食事をして会話を楽しんだりサポートしたりしています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ほとんどの利用者が2日に1回は入浴しています。入浴は希望があれば月～土曜日いつでも入浴できるよう対応しています。季節に合わせて菖蒲湯などの変り湯も楽しんでいます。体調不良や入浴を好まない利用者には足浴などで対応しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴を生かした支援ができるよう、職員が把握し、発揮できる場面作りを設定しています。野球観戦やカラオケなど利用者の好みに合った支援も行っています。3階ユニットでは「町会」を発足し、毎週日曜日に町会を開いて、意見や苦情または行事の検討などを行い、利用者と職員が自由に意見交換をしています。季刊紙の作成に利用者も参加して、写真を選んだり、コメントを筆達者な利用者を書いてもらったりしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に近くのコンビニへ職員と買い物に出たり、外出や散歩を希望すれば臨機応変に対応できるよう希望に添った支援をしています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームの玄関、建物は解錠され自由に入出りができます。玄関には音のセンサーで利用者が外出しようとする気配を感じられる様にしています。エレベーターは常に解錠されている状況です。しかし、新しく入居された利用者の状況により一時的に電子ロックが自由に操作できないようになっていますが、利用者が外出しそうな様子を察知したら、職員が声をかけ、一緒に外へ出るなどして支援しています。一時的に電子ロックによる施錠をする時は、暗証番号などの掲示の工夫も検討することが望まれます。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練のうち、1回は消防署の協力を得て行い、利用者と一緒に避難したり消火器の操作をしたりしています。他は地域の自治会と一緒に消防訓練を行っています。また、2ヶ月に1回はユニット毎に避難経路の確認を利用者と一緒に行い災害に備えています。災害時に備え、水・食料品などの備蓄が準備されています。今後は、避難訓練を実施した記録などを残し、次回に活かしてはいかでしょうか。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	あらかじめ栄養バランスを考えた食材を業者から配達してもらっています。嚥下が難しい利用者にはとろみや細かくきざむなど工夫して支援しています。水分量は毎回チェックして記録し、職員全員で把握し共有しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有部分の食堂、リビングには椅子やテーブル、ソファが置かれ、またリビングの一角には和室もあり思い思いの場所でくつろぐことができます。2階はリビングからバルコニーに出ることができ、3階とは緩やかな階段でつながり、ユニット間を自由に行き来できます。バルコニーのベンチに座り外気に触れたり、プランターで栽培している季節の花や野菜を身近に感じたりすることができます。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドとエアコンはホームの備え付けですが、他の持ち込みは自由です。使い慣れたタンスや思い出のあるタンス、仏壇、家族の写真などを置かれ居心地がよく、落ち着いて暮らせる工夫がされています。		